

県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方【健やか山梨21（第3次）（素案）】

No.	意見〈該当箇所〉	意見の内容	意見数	意見に対する県の考え方（対応方針）	
				区分	
1	たばこ、COPD対策について P37、56、69	「タバコ病による早死に無くすための取り組み」をよりいっそう進めていただきたい。 タバコには、メンソールや香料など添加物が多く含まれ、肺深くまで吸わせ、依存性を強め、離脱を困難にしている。喫煙者にその危険性の周知啓発をお願いします。	1	記述済み	P58「たばこに含まれるニコチンには依存性があり、本人の意思でやめることは難しいこと（中略）情報を提供し、喫煙者の禁煙サポートを行っていきます。」
2	たばこ、COPD対策について P37、56、69	とりわけタバコの依存性を強め禁煙離脱を困難にしているメンソールなどの禁止が施策として必須なので我が国でも「タバコの添加物の法規制と監督機関の創設」を御地からも国へ要請いただきたい。★SDGs目標3 すべての人に健康と福祉をの「3.a すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。」に沿うのであれば、「タバコの添加物の法規制と監督機関の創設」は必須のほうです。	1	その他	ご意見は今後の参考にさせていただきます。
3	たばこ、COPD対策について P37、56、69	喫煙者に禁煙を促し勧めるために、大阪市のようなアプリ活用も含め、「禁煙治療の2/3助成」を自治体でもよりいっそう進めていただきたい。	1	実施段階検討	たばこ対策に取り組む保健医療関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等）と連携し、喫煙者の禁煙サポートを行っていくこととしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
4	たばこ、COPD対策について P37、56、69	治療薬のチャンピックスが現在入荷待ちとなっていますが、来年春以降には入荷の可能性があるようで、準備を進めていただき、「禁煙治療の受診者数の数値目標を都道府県や市町村などで設けては」どうでしょうか。	1	実施段階検討	たばこ対策に取り組む保健医療関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等）と連携し、喫煙者の禁煙サポートを行っていくこととしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
5	たばこ、COPD対策について P37、56、69	日本禁煙学会では「禁煙外来の保険適用施設」の都道府県施設を公開し、2～3か月ごとに更新しています。 ここに掲載しているピンク色の施設には学会認定医師など専門職がいて認知行動療法などを含め禁煙成功率が高いです。また禁煙指導薬剤師などが薬局で禁煙に携わるなど、禁煙治療セミナーなどで研修を積みスキルもあります。 来年度から、保険薬局の算定加算に、敷地内禁煙とタバコを販売しないが入り、禁煙相談や支援などで、薬局との連携が期待されるそうです。	1	記述済み	計画では「たばこ対策に取り組む保健医療関係団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会等）と連携し、たばこに含まれるニコチンには依存性があり、本人の意思でやめることは難しいことや禁煙治療、禁煙支援・禁煙治療に取り組む医療機関や禁煙支援をする薬局（禁煙サポート薬局）についての情報を提供し、喫煙者のサポートを行います。」と記載しているところです。
6	たばこ、COPD対策について P37、56、69	一般的に議員の喫煙率は高いようです。喫煙する議員に禁煙を勧め禁煙に至れば、タバコ対策に力になっていただけると思うので、トライしてみてもはどうでしょうか？	1	その他	ご意見は今後の参考にさせていただきます。
7	たばこ、COPD対策について P37、56、69	最近、加熱式タバコ（ニコチン入り電子タバコを含む）を推奨する動きがあります。これらのタバコの有害性は紙巻タバコに比べて決して少ないものではなく、数多くの添加物もあいまって依存に縛り付けるものです。万一にも与することのないようお願いします。	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「たばこについての正しい情報の発信」「加熱式たばこ（ニコチン入り電子たばこを含む）も含め、たばこについての正しい情報を発信していきます」と追記します。
8	たばこ、COPD対策について P37、56、69	ネットや本で「60～70歳以上は酒もたばこも自由でいい」などと誤った情報があります。健康づくりの行政や保健医療関係にとっても、このような特に高齢者などを惑わす誤った情報には厳しい反論なり批判が不可欠です。貴管下への周知の検討をよろしくお願いします。	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「たばこについての正しい情報の発信」「加熱式たばこ（ニコチン入り電子たばこを含む）も含め、たばこについての正しい情報を発信していきます」と追記します。
9	たばこ、COPD対策について P37、56、69	「受動喫煙の危害ゼロの施策」をよりいっそう進めていただきたい。 健康増進法の屋内での受動喫煙防止の規定を屋外にも広げるべきで、屋内だけでなく、屋外の公共的施設や、歩道（路上）、公園、子ども関連施設、屋外スポーツ施設、遊泳場、スキー場、レクリエーション施設、社寺仏閣などを含め、禁煙空間を広げていただきたい。（さいたま市や相模原市、横浜市など多くの市が公園禁煙化の施策を進めている。）	1	実施段階検討	市町村や保健医療関係団体、医療保険者、事業所等との協働により受動喫煙対策を推進することとしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
10	たばこ、COPD対策について P37、56、69	兵庫県の条例のように子どものいる場所や傍での喫煙・タバコをやめるルール作りの推進をお願いしたい。	1	実施段階検討	市町村や保健医療関係団体、医療保険者、事業所等との協働により受動喫煙対策を推進することとしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。

11	たばこ、COPD対策について P37、56、69	一部の市で開放型の指定喫煙所が設置されていますが、そもそも開放型はじゃじゃ漏れ出ざるをえません。設置や清掃などに公費を使わなくとも、民間の有料の喫煙所があるので民間に任せれば良いし、経過措置としてもし期間限定で設けるとしても密閉閉鎖型の漏れない構造のものが不可欠ですし、中に禁煙の勧めや禁煙治療の広報など貼るなど、また下記の禁煙CM動画コンテストの作品を放映するなどが良いです。 それに、喫煙所をJTや外国タバコが設置費用を出し、自治体が設けるケースが多いようで、その場合は喫煙でのタバコ税が自治体に入り、売り上げはタバコ業界の収益となるCOI（利益相反）が発生し、双方に収益の「うまみ」が生ずる。かつ喫煙者の禁煙の機会を削ぐことにもなっている。喫煙できる場所を狭めていくことが喫煙率を下げていく良策であるに、喫煙所設置で喫煙にあえて手を貸す結果を招くのは良くない。 今後喫煙者が減っていくとともに屋外喫煙所は閑古鳥が鳴いていくことになるだろう。そんな無駄が予見されることに公費を使うのは極力躊躇すべきだ。	1	その他	ご意見は今後の参考にさせていただきます。
12	たばこ、COPD対策について P37、56、69	2024年の5/31世界禁煙デーと禁煙週間の機会に、イエローグリーンのライトアップ（公共的なタワーや役所、公共施設、保健医療機関などを含め）による「受動喫煙防止の徹底化」を全国各地で広げる啓発を日本医師会や各地の医師会、府県レベルでは福島県・山形県・宮城県・京都府・熊本県などとも連携し、日本禁煙学会でも広く呼びかけているところです。御地でもご協力・連携をお願いします。	1	実施段階検討	市町村や保健医療関係団体、医療保険者、事業所等との協働により受動喫煙対策を推進することとしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
13	たばこ、COPD対策について P37、56、69	医師会や歯科医師会（歯周病などでの禁煙指導歯科の推進を含め）、薬剤師会（禁煙支援薬局の推進を含め）、健保連、国保や後期高齢保険などを通して保健医療施設全てが一声を掛けるよう連携を進めてはどうでしょうか。	1	実施段階検討	市町村や保健医療関係団体、医療保険者、事業所等との連携し、喫煙者の禁煙サポート及び受動喫煙対策を推進することとしており、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
14	たばこ、COPD対策について P37、56、69	糖尿病対策に関連して、以下が明らかにされているの、タバコ対策とのリンクはより重要です。 ・禁煙で2型糖尿病リスク低下 ・日本人の認知症リスクに対する喫煙、肥満、高血圧、糖尿病の影響 ・「受動喫煙」が糖尿病リスクを高める 危険なのはタバコの煙だけではない ・加熱式タバコにも「糖尿病」リスクが？日本の最新研究 ・非喫煙女性の受動喫煙と糖尿病発症との関連（非喫煙女性では、夫の喫煙本数が多いほど糖尿病のリスクが上昇） ・新型コロナは糖尿病があると重症化しやすい理由	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「たばこについての正しい情報の発信 たばこと生活習慣や疾患等との関連性を含めて、情報発信していきます」と追記します。
15	たばこ、COPD対策について P37、56、69	「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」に関連して、喫煙+受動喫煙で身体的フレイルのリスクがより上昇することなどが明らかにされてきているので、タバコ対策とのリンクはより重要です。	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「たばこについての正しい情報の発信 たばこと生活習慣や疾患等との関連性を含めて、情報発信していきます」と追記します。
16	たばこ、COPD対策について P37、56、69	喫煙者は歯周病で歯を失う人が多くいます。受動喫煙でも同様のリスクがあり、禁煙により、本人及び周りの家族など受動喫煙者でも、歯周病だけでなく歯肉炎・虫歯・歯喪失・義歯修正等の減少が期待され、末永くよく噛み味わえるようになります。歯周病以外に、口内炎や舌がん、食道がんなども喫煙・受動喫煙と因果関係が多々あります。歯・口腔保健ではこれらを強調し、施策・啓発が重要です。8020運動（キャンペーン）のためにも不可欠です。	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「たばこについての正しい情報の発信 たばこと生活習慣や疾患等との関連性を含めて、情報発信していきます」と追記します。 また、山梨県口腔の健康づくり推進計画とも整合性を図っていきます。
17	たばこ、COPD対策について P37、56、69	歯周病関連で、歯科にも禁煙治療の保険適用が制度化されれば、喫煙者の禁煙へのモチベーションが高まり、禁煙希望者は増えて、健康推進と健康寿命延伸に大きく寄与すると思います。御地からも国への要請をよろしくをお願いします。	1	その他	ご意見は今後の参考にさせていただきます。
18	飲酒について P53	喫煙と酒は相乗的に悪影響を及ぼすとのエビデンスも多くあり、この啓発が必要かと思います。	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「飲酒についての正しい情報の発信 飲酒と生活習慣や疾患等との関連性を含めて、情報発信していきます」と追記します。
19	飲酒について P53	夕食時以降の飲酒は、思考能力を低下させますし、睡眠の妨げになります。これらの注意喚起が必要のように思います。	1	修正加筆等 意見反映	取組の方向性に「飲酒についての正しい情報の発信 飲酒と生活習慣や疾患等との関連性を含めて、情報発信していきます」と追記します。
20	飲酒について P53	タバコのテレビやメディアでの広告は自主規制されていますが、酒、特にビール類は派手な宣伝がなされています。酒類についても宣伝の自粛、及び飲酒の害の喚起について、メーカーに要請すべきで、御地としても独自の要請・啓発、また国への要請をよろしくをお願いします。	1	その他	ご意見は今後の参考にさせていただきます。

21	次世代の健康（胎児期・乳幼児期・学童期・思春期）	<p>実際にこの時期に密に関わることのできる職種として助産師が重要になってくると思います。妊娠出産に関わる時期の心と体づくり、そこに関わる保健指導、性教育それらを継続的に専門性をもって関わることのできる助産師がこれらの事業に参加できていないことがとても残念です。</p>	1	実施段階検討	<p>現在も助産師の皆様には妊娠出産に関わる時期の心と体づくりに従事していただいているところですが、特に近年では産後うつが増加により妊産婦のメンタルヘルスへの支援など新たな活躍の場においてもその専門性を発揮していただいているところですが、いただいた意見を踏まえ、今後は保健所が開催している母子保健推進会議などの場において情報共有を図り、助産師の皆様にご活躍いただける場について関係者と検討して参ります。</p>
22	妊産婦等の健康づくりの推進 P82	<p>産前・産後のケアセンターの普及とありますが、既に地域で活動している助産院、開業助産師の活用をご検討いただきたいです。例えば助産院で宿泊型の産後ケアセンターをする際には、産後ケアセンターと同じような補助金があったらどうでしょうか。</p> <p>また現在宿泊型の産後ケアセンターは笛吹市にありますが、郡内の妊産婦は利用しにくい現状があるように思います。</p> <p>また産科医療機関から、（可能でしたら）出張型の産後ケアなども、推奨していけたら、妊娠分娩期に関わった助産師が継続的に支援をすることが出来るような気がしています。</p> <p>助産師が地域でもっと活動しやすく、活用してもらえるような、施策を希望します。</p>	1	実施段階検討	<p>現在も助産師の皆様には地域において母子保健事業に従事していただいているところですが、ご意見につきましては、県と全市町村で構成している山梨県産後ケア事業推進委員会において情報共有し、関係者と共に検討して参ります。</p>